

令和6年度 松川中央小学校 グランドデザイン

【松川町】 いっしょに育てよう ひとり一人が輝く 笑顔あふれるまち まつかわ

【松川町教育委員会】

③つかわ大好きな子・世界や地域と②ながる子
一人ひとりが①がやく子・④たしを大切にできる子

4つの重点

- 松川町を愛する子どもを育む
- 子どもを主人公に
- 主体的な学びの実現
- 多様な学びの実現

【学習指導要領】

予測が困難な時代 改めて「生きる力」の必要性

目指す資質・能力

ア 生きて働く「知識・技能」の習得

イ 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成

ウ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

★ 主体的・対話的で深い学び

学校教育目標

よく学び よく遊び よく働き おもいやりのある子

R6年度重点目標

学ぶ

主体的に学習に取り組み、自信をもってさらに深く学ぶ子

- ・学習でいろいろな人と関わり多様な考え方に触れる（多様な見方、考え方、価値観）
- ・毎時間の振り返りとゴールを意識した単元デザイン（児童の学びに応じた柔軟な学習計画）
- ・ICT機器を活用し自分なりに学習に取り組む（新しい学び方に触れるGIGAスクール構想）
- ・全校統一した視覚支援などのユニバーサルデザイン（学習環境づくり）

遊ぶ

遊びを通して、人と交わる力を伸ばし、よりよい関係を築ける子

- ・スリンプログラムを活かしたまつかわタイム（人間関係づくり）
- ・朝の時間を利用した縦割り活動（異学年交流、姉妹学級交流）
- ・障がいの有無にかかわらず、みんなが楽しめる遊びやルールを考える。（遊びのユニバーサルデザイン）
- ・遊びのスペースの確保、ドッジボールコートなど校庭の環境整備（遊びを促す環境）

働く

主体的・協働的に取り組み、自分だけでなく他者のために活動する子

- ・クラスでの当番や係活動、児童会の委員会活動を通して自分の良さを知る（自己理解、自己有用感）
- ・生活科や総合的な学習の時間で協働して取り組むことの良さを知る。（他者理解、人間関係づくり）
- ・社会で働く人の姿から、自己の生き方や夢をもつ。（キャリア教育の充実）
- ・ボランティアを通して積極的に社会に参画しようとする意欲をもつ。（社会福祉協議会との連携）

思いやる

自己理解・他者理解を深め、自分にも他者にも寄り添うことができる子

- ・職員がまず人権意識を高める（職員研修で障がいのある子をもつ方から話を聞く）
- ・子ども、職員で障がい者と同じ体験をする（肢体不自由、視覚・聴覚障害など）
- ・LGBTや障がいに負けずに頑張っている方の話を聞く（共生社会の理解と自分たちができることを考える）
- ・いろいろな人の生き方を知る。（多様な生き方を知ることで、自己肯定感を高める）

安心安全な学校づくり

- ・いじめ・体罰・スクールセクハラ相談窓口設置（校長室・保健室）
- ・県・町スクールカウンセラーによる児童や保護者との面談 WISC等検査結果を生かした支援
- ・町不登校支援員や子と親の相談員、スクール・ソーシャル・ワーカー(SSW)との連携による登校支援

家庭との連携

- ・児童の学びや育ちを伝える学級・学年だより
- ・学習状況の共有（NRT、CRT、全国学テ）
- ・児童の困り感を学校・家庭で共有する教育相談週間
- ・ICTを活用した家庭学習の検討
- ・学校評価を生かした授業改善、教師の意識改革

地域との連携

- ・学校だよりやHPによる情報発信
- ・地域巡り 地域講師 地域行事参加 地域貢献
- ・けやき応援団
クラブ支援隊 本読み聞かせ隊 地域を知ろう隊
勉強がんばり隊 登下校見守り隊

学校評価

- ・「興味関心を持ち、進んで学んだり楽しくできた」と答える児童の割合が90%以上（R5 91%）
- ・「友だちと遊んだり活動、学校生活は楽しい」と答える児童の割合が95%以上（R5 92%）
- ・「児童会・係活動、清掃、給食当番などに進んで取り組む」と答える児童の割合が70%以上（R5 93%）
- ・「友だちの話を聞いて、考えたり共感したりする」と答える児童の割合が80%以上（R5 85%）